

福智町憩いの夕べ 集い語らう憩いのピアガーデン

商工会主催の「福智町憩いの夕べ」が8月19日に商工会館前で行われ、露店が並ぶピアガーデンが多くの人で賑わいました。特設ステージでは、毎年人気の抽選会に加え、バルーンショーやサッカーパフォーマンスなど年齢問わず楽しめる企画を実施。盛況の会場は、知り合いと談笑する来場者の表情に包まれました。



↑ 初参加の「フットボウズ」の華麗な技術に子どもたちの視線は釘付けに。

↓ 約20分にわたりハート型やしだれ柳など多種の花火が福智の空を彩りました。



第12回 福智町水と灯火の夕べ 夏の夜空彩る大輪の花

夏の終わりを告げる恒例行事「水と灯火の夕べ」が、8月26日に彦山川・中元寺川合流点で開催されました。約100人がやぐらを囲み、連日練習に励んだ新曲をはじめ、口説き歌など計7曲の総踊りをゲストの歌手・藤かおりさんと共に披露。踊りをとおして交流した後は約800発の花火がイベントの最後を締めくくりました。

↓ 約1か月前から訓練を重ね、選手一人ひとりが役割を全うし正確な動きを見せた第1分団（金田）。



第3回福智町消防団操法大会 地域を支える消防技術の競演

住民を中心に組織され、地域の消防活動を支える消防団。町内の14分団が標的に放水するまでの時間と正確性を競う操法大会が、9月10日に彦山川・中元寺川合流点で行われました。今大会から県の審査要領に合わせ、より正確な動作と規律を重視した採点に変更。白熱した競技は、時間・正確性ともに好記録をマークした第1分団が2大会ぶりの優勝を果たしました。

上弁城六夜待 世代と地域を越えて沸いた一夜

江戸時代からの祭り「上弁城六夜待」が8月19日に上弁城集会所で行われました。稲刈り後の地域の楽しみとして復活し、今年で20回目。年々人の輪が広がり、50人以上の出演者のうち約半数が上弁城地区以外からも駆けつけました。各演目終了ごとに惜しみない拍手が贈られ、熱狂は日付が変わる直前まで続きました。



↑ 地域や年齢の隔てなく20組が出演し、個性的な衣装やバンド演奏などを披露。

↓ 大好きな織田信長を独自の視点で考察した「逆説の日本史」を紹介する尾澤くん。



3 赤池中2年生ビブリオバトル 分で魅力語る自分のお薦め本

自らがお薦めする本を3分間でPRし、観客が一番読みたい本を決定する「ビブリオバトル」がふくちのちで8月28日に行われました。赤池中2年生がクラスごとに2人の代表を選出し、6人が決勝で書籍を紹介。歴史の本の魅力に熱弁し、同級生や来場者の共感を得た尾澤くんが投票で1位となり、特製の盾と賞状が贈られました。

春田六夜様祭 地域総出で伝統継ぐ演芸会

春田地区を代表する伝統行事「六夜様祭」が8月26日に春田公民館で行われました。素人演芸会と題し、幅広い年齢層の24組が歌やダンス、伝統舞踊などこの日のために練習を重ねた演目を披露。観客からは声援とともにおひねりが飛び交い、最後は出演者全員による餅まきで、地域総出の楽しい夜は幕を閉じました。



↑ 地域の人気者や子どもたちなど全参加者による感謝の餅まきでフィナーレ。

↓ 激流をボートで下る、スリリングな「ラフティング」に子どもたちが大興奮。



夏季少年のバス 自然を学び友情築いた3日間

青少年育成町民会議主催の宿泊学習「夏季少年のバス」が8月18日から3日間行われ、町内の小4から中2までの39人が参加しました。宮崎県延岡市を訪問し、海や川での体験学習や屋外での自炊など様々な活動で自然を体感。子どもたちは貴重な経験と団体生活を通して、自然や人を思いやる心を育みました。